

活動報告

平成21年度 厚生連放射線技師会学術活動

糸魚川総合病院、放射線科；診療放射線技師

わかばやし ふじ あき
若林富士昭

厚生連放射線技師会が平成21年度に行った学術活動は、例年通り各種研修会の企画運営と全国的な学会への参加でした。各種研修会としては春季・秋季の年2回行われる「厚生連放射線技師会研修会」、前期・後期合計3回の「新採用・3年未満技師研修会」、年1回の「技師長・主任研修会」を行いました。

その中で「厚生連放射線技師会研修会」の春季は毎年一つのテーマに絞り掘り下げる様にシンポジウム方式で行い、秋季はテーマを問わず広く会員から演題を募集し研究発表してもらっています。新人研修については特に2年目の最後の研修会でテーマ自由のプレゼンテーションを行って研修の最後としています。

全国的な学会参加につきましては例年通りの参加規模でしたが、最近では各種認定技師の取得や更新にも参加費の助成が必要との声が多くあがっており研修費についても考えるべき時期に来ていると思います。

以下、平成21年度各研修会の活動内容を示します。

【第110回厚生連放射線技師会春季研修会】

時 平成21年5月31日(日)
所 長岡中央総合病院 講堂

内容 特別講演 1

「心停止からの生還」

講師 長岡中央総合病院 循環器科部長 中村 裕一 先生

特別講演 2

「320列 CT について」

講師 東芝メディカルシステムズ株式会社 堤 高志 先生

会員発表

「心臓 CT の撮影ポイントについて」

村上総合病院 八藤後拓哉

パネルディスカッション「厚生連における心臓 CT」

司会 村上総合病院 八藤後拓哉

パネリスト

- | | |
|-----------|-------|
| 1 糸魚川総合病院 | 脇坂 富男 |
| 2 上越総合病院 | 徳山 克一 |
| 3 村上総合病院 | 比護 与一 |
| 4 佐渡総合病院 | 稲葉 光昭 |

【要旨】

今回の研修会のテーマは心臓を中心とした循環器領域である。専門医師からの講演、心臓 CT に特化した最新の CT 装置の講演をメーカーから、各病院の心臓 CT の現状を会員より報告してもらった。

午前の部は特別講演1として長岡中央の循環器科部長中村裕一先生より「心停止からの生還」と題して講演して頂いた。循環器科からみた心肺停止と突然死についての内容であり、心室細動等の様々な実例を含めた大変貴重な内容であった。

午後の部は特別講演2として東芝メディカルの堤高志先生より「Aquilion ONE が臨床に与えるインパクト」と題して講演して頂いた。最近長岡中央に導入された最新鋭の320列面検出器をもつこの装置は心臓や脳を1回転で撮影出来、又時間軸をもった4D-CT(動態診断)も可能となっているとの内容であった。ひきつづき「厚生連の心臓 CT」と題したパネルディスカッションがあったが、各施設とも独自に工夫して難易度の高い心臓 CT を行っていた。

総会・学会参加報告・諸連絡

【第111回厚生連放射線技師会秋季研修会】

時 平成21年12月13日(日)
所 長岡中央総合病院 講堂

内容 特別講演 1

「インフルエンザその病態と対処法」

講師 第一三共株式会社

今泉 俊也 先生

特別講演 2

「肝臓の画像診断について」

講師 長岡中央総合病院 放射線科 山本 哲史 先生

会員研究発表

総会・学会参加報告・諸連絡

【平成21年度新採用技師前期研修会】

時 平成21年6月27日(土)
所 長岡中央総合病院 検診棟会議室

対象者 上村 直史(糸魚川)、石川 陽子(長岡)、高橋沙緒理(佐渡)

内容 テーマ リスク、頭部

① 放射線科のリスクマネージメント 五十嵐一美

② 頭部・解剖を中心に 酒井 泰行

③ 頭部の実際(各種モダリティ)

ア) 頭部 CT

菅井 直光

イ) 頭部 MRI

折笠 康宏

ウ) 症例検討会 (Angio、CTA、MRI etc) 伊藤 哲也、今井 強

【平成21年度3年未満技師前期研修会】

時 平成21年7月11日(土)
所 長岡中央総合病院 検診棟会議室

対象者 姥澤 一哉(長岡)、星 沙矢香(糸魚川)、齋藤 加奈(上越)、佐藤 朋子(刈羽)
永井 杏奈(村上)、田中 梨絵(村上)、近 史明(佐渡)

内容 テーマ 腹部・骨盤部

① 腹部・骨盤部の解剖 五十嵐一美

② 腹部・骨盤部(被曝量線量について) 酒井 泰行

③ MRI 折笠 康宏

④ 腹部血管を中心に(Angio、CTA、MRI etc) 伊藤 哲也

⑤ 症例検討会 菅井 直光、今井 強

【平成21年度新採用・3年未満技師後期合同研修会】

時 平成21年11月28日(土)
所 長岡中央総合病院 検診棟会議室

対象者

初年度 上村 直史(糸魚川)、石川 陽子(長岡)、高橋沙緒理(佐渡)

3年未満 姥澤 一哉(長岡)、星 沙矢香(糸魚川)、齋藤 加奈(上越)、佐藤 朋子(刈羽)
永井 杏奈(村上)、田中 梨絵(村上)、近 史明(佐渡)

内容 ① 特別講義 長岡中央総合病院 放射線科部長 佐藤 敏輝 先生

② 課題プレゼン1

「マンモグラフィー 1.撮影技術編・2.臨床応用編」永井 杏奈、田中 梨絵(村上)

「手根骨について」佐藤 朋子(刈羽)、「冠動脈疾患について」齋藤 加奈(上越)

③ 課題プレゼン2

「頭部領域」近 史明(佐渡)、「肺塞栓症について」星 沙矢香(糸魚川)

「脊椎のMRIについて」姥澤 一哉(長岡)

【平成20年度技師長・主任研修会】(21年度は22年2月開催予定)

時 平成21年2月28日(日)

所 長岡中央総合病院 中央検診センター会議室(2階)

内容 講演1 「今後の放射線治療の方向性(動向)と放射線技師の役割について」

講師 新潟大学医学部医歯学総合研究所

放射線医学教室教授 笹井 啓資 先生

アクシデント レポート(事故報告)

刈羽郡総合病院 板橋 芳人

講演2 「(ヨード系)造影検査におけるリスクマネジメント」

講師 第一三共株式会社 医療営業本部 マーケティング部

マーケティング企画グループ主査 坂本 俊之 先生

【要旨】

午前の部は講演1として新潟大学の笹井啓資教授より放射線治療の専門性について講演して頂いた。内容としては放射線治療の概論から始まり、最新の装置・治療法、最近よく話題に上る過剰照射による医療事故についてであった。装置の進歩により放射線治療業務の内容もより複雑化しており、治療専門技師の必要性が強く感じられた。

午後の部は最初に刈羽の技師長より以前起こった医療事故報告をしてもらい、その後それについて全員で討議した。結論としては、事故が起こった場合は速やかな報告と真実を患者様に伝えるの二点であった。

最後に講演2として第一三共の坂本俊之先生より造影検査と医療紛争・造影剤の副作用と対策・副作用以外のリスクなどについて講演して頂いた。

【平成21年度学会等派遣】

日本放射線技術学会 第65回総会・学術大会(横浜)	3名
日本放射線技師会 第25回総合学術大会(鹿児島)	1名
日本放射線技術学会 第37回秋季学術大会(岡山)	3名
日本放射線技術学会東北部会 第47回学術大会(秋田)	2名